

講義名	流通史	授業形態	
担当教員	亀井 大樹	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3 時限
		単位数	2
		履修開始年次	2 年生
		ナンバリング・コード	DIS263

## 主題と概要

華々しい「産業革命」や工業化の歴史に比べて、流通の歴史はどこか地味な印象があるのではないのでしょうか。しかし流通の歴史は実は「産業革命」に匹敵するぐらいの大きな進展があったのです。日本の流通の歴史は本格的には戦後の高度経済成長期に「流通革命」として大きく前進することになります。この講義では日本の流通システムの特徴を洗い出した上で、そうした特徴がいつ成立したのかを歴史的に追っていきます。講義の序盤を卸売業と問屋制の成立と進展について、中・後盤を小売業の業態変化とその展開について学びます。本講義はあらゆるものに歴史が存在するという立場をとり、この講義を履修することで、「歴史的に考察する癖をもつ社会人」の育成をめざします。

## 到達目標

- 【第1段階】 意欲・態度に関する目標
- 目標1 歴史を学ぶことは将来有用であることに気づく。
  - 目標2 現代の流通システムは過去からの連続であることを認める。
- 【第2段階】 知識に関する目標
- 目標3 高度日本史探究の歴史的な用語、ビジネス基礎の概念を説明できる。
  - 目標4 各時代の流通史に関するキーワードを列挙することができる。
- 【第3段階】 表現に関する目標
- 目標5 流通史に関するキーワードをつかって、なぜその業態が登場したかの説明ができるようになる。
  - 目標6 この授業修了時には少なくとも一事例を挙げながら日本における流通の歴史を説明することができる。

## 提出課題

- 【毎回課題（レスポンド回答）】
- 毎回の授業後にその日の授業内容を簡単な振り返りと感想・質問・不明点をレスポンドで回答します。
  - 課題は授業中に説明します。
  - 提出にはスマホ、タブレット、パソコン等の電子機器類を用います。電子機器類を持参してください。提出期限が守れない場合は未提出扱いとなります。提出期限の延長はいかなる要望にも応じません。
- 【中間試験】
- 学期半ばで中間試験を行います。いつやるかは事前にアナウンスします。
  - 持ち込みは全て可で検討しています。いつやるかは事前にアナウンスします。
- 【学期末試験】
- 学期末試験を行います。
  - 持ち込みは電子機器類以外で「全て可」で検討しております。

## 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- 【毎回課題（レスポンド回答）】
- 各回の提出した内容に対する感想、質問、不明点は翌週以降の授業で回答します（ただし回答数が多い場合には代表的な質問・不明点のみを取り上げ回答します）。
  - 課題の回答はクラスの皆さんとシェアします。シェアを前提に回答してください。
- 【中間試験】
- 中間試験を行った場合には翌週以降に講評をおこないます。

## 評価の基準

- 【平常点】 20%
- 授業への参加度（受講態度）およびミニッツペーパーでの質問や感想内容で評価します。
  - 授業受けずに課題を提出した場合はカンニング行為とし、平常点を0とします。
  - 私語や他の受講生の迷惑なような行為は厳に禁じます。
  - 授業中に私語がない場合、授業協力点として、全員に「+」を付与することがあります。
- 【中間試験】 40%
- 学期半ばで中間試験を行います。いつやるかは事前にアナウンスします。
- 【定期試験】 40%
- 試験期間中に学期末定期試験を行います。
  - 学期末定期試験の受験だけで成績評価はしません。
  - 持ち込みは「可」、電子機器類は「持込不可」です。
- 【ボーナスポイント】（最大15%）
- 加点課題を達成することがあります。
  - 任意課題でするので、意欲のある人のみ提出することができます。
  - 成績評価は平常点、中間試験、定期試験、加点課題を中心に総合的に判断して行います。
  - 成績評価の方法（加点課題等）は初回の授業で説明します。必ず出席してください。
  - 毎回課題回収はレスポンドで行います。スマホ、タブレット、パソコン等の電子機器類を持参してください。持っていない場合当日配布限りの紙のミニッツペーパーを配布します。
  - 学期末定期試験の受験だけで成績評価はしません。

## 履修にあたっての注意・助言他

- 【受講のルール】
- ・スマホ/パスはよく読んで初回の授業にのぞんで下さい。
  - ・食事（ガムも含む）は厳禁です（水分補給のための飲み物は認めます）。
  - ・受講中のイヤホンの着用は厳禁です（ただし聴覚等に障碍がある場合は認めます）。
  - ・他の受講生に迷惑がかるので、講義中の私語は厳禁です（ただし討論を行う時はの限りではありません）。
  - ・ミニッツペーパーで取組むべき事項があれば、意欲が「+」を付与することがあります。
  - ・逆に授業中に私語がない場合、授業協力点として、全員に「+」を付与することがあります。
  - ・他の受講生に迷惑がかるので、及ばずには携帯電話やスマホの着信音やチャイム音を消さなければなりません。
  - ・スマホを入手できずで止し参加する場合は認めませんが、その場合、マナーカスラ等のアプリを使用してください。
  - ・動画撮影は認めません。
  - ・保障のある学生がいたら申し出て下さい。
  - ・体調不良で欠席した場合は医療機関の診断書等を提出してください。
  - ・思引・公式試合・就職試験・教育実習等で欠席した場合には証明書を提出してください。

## 教科書

・使用しない。				
---------	--	--	--	--

## 参考文献

・商店街は必要なのかな。	洞商勇	講談社現代新書	640	9784062883252
・日本商業史。	廣田誠・山田雄久・木山実・長瀬利崇・藤岡里佳	有斐閣	2750	9784641165069

## その他

- 【配布資料】
- ・配布資料は授業時に適宜配布します。また必要に応じてRYUKA Portalのキャンパスクロスにアップします。
  - 【参考文献】
  - ・授業時に指示しますが、全体を通しての参考文献として高校歴史やビジネス基礎の教科書・資料集類をあげておきます。
  - 日本史探究
  - 佐藤信ら編著（2023）『詳説日本史』山川出版社。ISBN 978-4-634-70121-2
  - 歴史総論
  - 久保安明、中村尚史ら編著（2022）『現代の歴史総合 みる・読むとく・考える』山川出版社。ISBN978-4-634-70112-0
  - ビジネス基礎
  - 小松豊監修（2022）『ビジネス基礎』新訂版、東洋館出版。ISBN 978-4-8090-8054-8

## 授業計画

- 【第1回】オリエンテーション
- 予習内容 Webブラウザをよく読んで、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 成績評価、定期末試験について、配布プリントを読み返してください（120分）。
- 【第2回】日本の流通の特徴は？は？いつとどこ？～日本型流通の特徴～
- 予習内容 なぜ流通史を学ぶことが大切なのか
  - 復習内容 授業で学んだ日本型流通の特徴にあてはまるような具体的な事例を探しておく（120分）。
- 【第3回】卸売業が問屋ってなんの仕事をしている？～日本の卸売業の多段階性～
- 予習内容 身近な卸売業者や問屋をみつけておく（120分）。
  - 復習内容 卸売業や問屋が果たす役割を深めるために、動画共有サイトの動画を視聴してノートにまとめておく（120分）。
- 【第4回】日本の問屋はいつ成立したの？～日本における問屋制の成り～
- 予習内容 高校の日本史探究の該当箇所を読んで、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 講義で学んだ内容を図を交えながら説明できるようにしておいてください（120分）。
- 【第5回】日本に珍しい小売店がある？～日本の小売業の多様性～
- 予習内容 「モノ＝（財）」はどこで売られているのか、その買い手は誰なのかまとめて、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 講義で学んだ内容を定義できる＆分類できるようにしておいてください（120分）。
- 【第6回】ババママ・ストアってなに？～
- 予習内容 一週間をつかった小売店を列挙して講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 講義で学んだババママ・ストアの長所と短所をまとめておいてください（120分）。
- 【第7回】中身のまとめ
- 予習内容 これまで配ったプリントを揃えて、到達目標を一覧化して、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 これまで授業で紹介した到達目標を達成できるようにしてください（120分）。
- 【第8回】百貨店と問屋は？～百貨店の誕生～
- 予習内容 ネットなどを使い自分知りうる百貨店名をできるだけ列挙して、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 授業で学んだ内容をもとにして、なぜ銀座が百貨店へと「進化」したのか、説明できるようにノートにまとめておいてください（120分）。
- 【第9回】なぜ流通史を学ぶことが大切なのか
- 予習内容 ネットなどを使い自分知りうる私生活社会をできるだけ列挙して、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 講義で学んだ小林一三と阪急電鉄の歴史について動画共有サイトの動画を視聴してノートにまとめておいてください（120分）。
- 【第10回】スーパーの特長ってなに？～銀座とセルスーパー～
- 予習内容 （1）百貨店、スーパー、コンビニ、どちらがうのか調べてください。（2）本学のキャッシュレジスター特権館を訪ねて、講義に臨んでください。（1）と（2）をあわせて120分。
  - 復習内容 講義で学んだスーパーの特長について、ノートにまとめておいてください（120分）。
- 【第11回】スーパーってなんでもあがるよね～総合スーパーの誕生 中内町とダイエー～
- 予習内容 本学の中内町記念館を訪ねて、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 本学のダイエー資料館を訪ねて、講義の理解を深めてください（120分）。
- 【第12回】ショッピングセンターは？～ダイエーがつくった～
- 予習内容 ショッピングセンターにはどのような専門店チェーンが入っているのかネットとかを調べて、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 ダイエーがつくったショッピングセンターがその後どう展開したのか調べてください（120分）。
- 【第13回】新鮮な食感を食卓に届けるにはどうすればいいの？～一部スーパーと北野拓次が果たした知られざる革命～
- 予習内容 食卓スーパー、ネットなどを使い調べ、講義に臨んでください（120分）。
  - 復習内容 実際に食卓スーパーなどを見て、授業で学んだとおりなのか、ノートにまとめてください（120分）。
- 【第14回】コンビニって便利だよ～日本コンビニの誕生～
- 予習内容 これまで学んだ内容を踏まえて、百貨店、スーパー、コンビニ、どちらがうのか調べてください（120分）。
  - 復習内容 日本のコンビニは家族経営なのかネットをつかって調べておいてください（120分）。
- 【第15回】全体のまとめ
- 予習内容 これまで配ったプリントを揃えて、到達目標を一覧化して、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 これまで授業で紹介した到達目標を達成できるようにしてください（120分）。
- 【学期末定期試験】
- ・学期末定期試験はリリッカー（レスポンド）をつかいます。
  - ・授業テーマについては、学生の理解状況にあわせて、変更・調整される場合があります。

## 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

## 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義を受講することで、「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力」のうち、「（2）知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」と「（3）創造力（新しい視点とかな発想）を持った人材」に寄与することができるようになる。

## 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- 【ICT活用】
- 課題の回収はレスポンドで行います。スマホ、タブレット、パソコン等の電子機器類を持参してください。

## 実務経験の有無及び活用

なし。

## 備考

特になし。